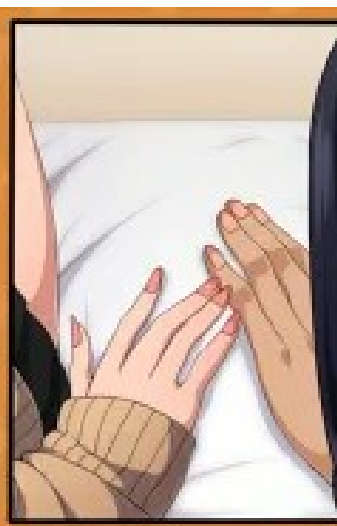




ねえ、
温
まてく?



うおお…寒そう

秋も暮れてきた今日この頃。
特に今日は風も強くて寒い。

早く帰りたくはあるけれど
寒いので外には出たくなくて
昇降口の中で立ち尽くしていた。

田中、何やってんの？

いや、寒いから
外出たくない
な〜って…

男はズボン
履いてんだから
寒くないでしょ？

寒いもんは寒いんだよ…





...

何よ？

ひひひ。

二木って
温かそうだなあ
って...

ちょ...それって
どういう意味？

あつ...いや
その...体温
高そうだなとか
...いや別に
変な意味じゃなくて！
いやその...ごめん

...

自分でもよくわからない事をつい口走ってしまった...

私でいいなら
温めてあげるけど...

へっ？

田中だったら...いいよ

あ、あれ...？



「二木かなめ」

仲のいいクラスメイト。
普段からよく話したり冗談を言い合っている。

俺は密かに思いを寄せているけど伝えられずにいる。
二木が俺の事どう思っているか分からないし
この関係が変わってしまうのも嫌だから……。

でもまさか二木の方から誘われるなんて……

色々考えていたら、北風の寒さなんて忘れていた。



今日、親帰り遅いから…

そ、そうなんだ…
じゃ、お邪魔します







…お、おう

田中…

いつもは明るく元気な二木が
顔を真っ赤にして瞳も潤んでる…。
こんな彼女を見た事ない…。
ここは俺が…しっかりしないと。

ぎゅ…

ドキッ…

ドキッ…



ちゅっ

んっ…

一瞬唇が触れ合って…



もう一回じゃ？

田中…私、初めて…

お、俺も…

はあ…

はあ…

ドキ…

ドキ…

ドキ…





ふ、二木...

んっ...はあ...

蕩けきった二木の顔...
本当に可愛くて可愛くて
俺は頭の中真っ白だった。



セーター脱い
じゃおっと……

あ……あつっ
何か急に暑くなつて
きちゃった……ね！

ぬぎっ

急に素に戻って
ワタワタしてる……。
可愛いなあ……二木



……気になる？

えっ？

その……胸……
いつも見てくる
よね……田中……

うっ……ごめん

バレバレだし……
やっぱ見たい？

うん

はっ……き……い……わ……



おお...

どぶどう？
変じゃない？

そんな事...ないよ
白くて...とっても
綺麗で、凄く大きくて
柔らかそうで...それに...

たにん...♡

ああ、もう！分かったから！
もう言わなくていいからあ！

ドキ...

ドキ...



ドキ...

触ってみても
...うっ...

...うん
優しく...ね

ぎゅっ...

ドキ...

お...お...

...うっ...恥ずう

ぎゅっ...



ちよつとお…
何か言つてよ

柔らかくて…
何か触つてると
頭ん中真つ白に
なつちやつて…

田中？

……

ん…

ん…

む…

む…



二木ーっ！

ちよっ…田中っ!?

ふえっ!?

ドキッ

パッ

ザッ
パッ
パッ



ちよ…まっつて
…田中あ！

あん…♡

はあ…二木の
良いにおい…

もおっ！
バカバカあ！

顔真っ赤で怒られた。



目の前の光景が凄すぎて
何も言えなくなる……。

…綺麗だ

あ……

ドク……

ドク……

田中あ……





カアア……

ほら、これ凄いのよ
こんなに垂れて……

あう……うう……

だって……凄く
ドキドキしてるから……

トロ……





田中の
バカあ!!

だからあ!そういうの
いきなりはダメえ!

うぐっ!
一応言った...

こ、心の準備が
あるんだから!

わ、わかった...
ごめん...てか
苦しい...ふた...き

んんん...

んんん...

ぎゃ

!!

二木の股間で
溺れかけた...。
ある意味で褒美か?



今度は私が見る
番だから...

お、おう...

あ、温かい...♡

か...

ドキ...

ドキ...



わっ…すごっ

ドキッ

こんなにおっきい
ものの？…田中

いや、それは
人それぞれ
だろうけど…

そうなんだ…

すごい熱…
血管も浮き出て
ドクドクいつてる

わ…♡

田中も私と同じだね
…すごくドキドキ
してるんだあ…





あ……♡

うっ……!

あ、ごめん……
痛かった？

そうなんだ……
気持ちいいんだ♡

いいや二木の手
柔らかくて……
気持ちいいから





ご、ごめん…
我慢できなくて

ううん…私で気持ちよく
なってくれたんだもんね
ちょっと嬉しい♡

わあ…♡

でも…これ凄いね
プルプルしてる…

ドク…

ドク…



ん…変な味

ん…♡

ちよつと舐めて
みよつと…

うっ!?

ん…♡

ちよ…

ビク

ビク



せっかくだから
全部吸っちゃお♡

ちよ…まつ！

ん…♡♡♡♡

ちゅー♡♡

はっはっ

ちゅ♡

ちゅ♡

ふ…♡♡♡♡

んん…♡♡
さつきいっばい
されたからお返し♡

うっ！
うおっ…！

あっ♡口の中で
おっきくなってきた♡



ふふ…♡

はあ…♡

ん…はあ…ほら
綺麗になったし
大きくなったよ♡

お…おう
どうも

ちほ♡

ビッ

ビッ



私も好きだよ
田中の事……♡
じゃなかったら
誘わないよ……

あ……♡

はあ♡

田中あ……♡

はあ♡

二木……
今更なだけでさ
好きだ……二木の事

ドキ……

ドキ……

ムチャ……♡

今度はいきなり
変な事しないから
優しくするから……
大丈夫

うん……
来て♡



た、田中あ…っ
ああ…くっ！

いっ…！

二木…

ううっ！

ぎゅっ

びん

びん

ぎゅっ

ぎゅっ

うう…



二木…
大丈夫か？

うん…ちよつと
痛いけど…

はあ…♡

♡…♡

田中と…
ひとつになれて
嬉しい…♡

俺もだよ

ドク…

ドク…



ゆっくり優しく
動くから...いい？

あっ♡

うん...
大丈夫♡

んっ♡

はあっ♡

あっ♡
田中っ♡

二木...っ！
膣中凄い...
あったかい！

うん♡私も...
田中の感じる♡

ぬっ...

ぬっ...
ぬっ...

ぬっ...
ぬっ...



あぁっ！
二木の膣中
気持ちよすぎて…
もう…

あぁっ！

あぁっ

田中あ…あっ
わ、私も…もう
だめっ…♡

んあぁっ♡



田中あ…♡

は—♡

は—♡

二木…

ドク…

ドク…

ゴ…

ドク…



二木…
大丈夫？

うん…♡

でもドキドキ
止まらない…

うん…ちよっと
落ち着くまで
こうしてようか…

ドク…

ドク…

ぎゅ…♡

ドク…

はぁ…♡

はぁ…♡



うん...♡

ドキ...♡

ちゅっ♡

ん...♡

好きだよ...

ドキ...♡



うん…ずっと
こうしてたい

はあ…♡

はあ…♡

二人でこうしていると
あったかいね…♡



田中のもう
元気になってる♡

二木が
可愛いから...

もう...バカ♡

だんご♡♡



田中の乳首
かわいい♡

舐めちゃお♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

うおっ!?

あっ…
ビクってなった♡
気持ちいいんだ♡

ちよ…それ
ヤバイって…!

あっ…♡

へっやばいんだ♡
悶えてる田中も
可愛いな♡

もっと
しちやお♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

二木も緊張が解けてきたのか
いつもの調子に戻ってきたな…。







今度は私が上ね♡

大丈夫か？

はあ……♡

はあ……♡

うん……
頑張ってみる♡

くちゅ……♡



んっ♡…ああ♡
さつきよりは
平気…みたい

二木の膣中
さつきより
トロトロで
…ああっ!

あ…♡

あっ♡中で
おち○ちん…
暴れてる♡

ブル…

ブル…

フワフワ…♡



動いてると...
凄い気持ちいい♡

はあっ♡ああっ♡
なんかさつきと
全然ちが...うっ♡

んあっ♡もっ♡
田中...おっぱい
ばっかり...♡

ああ...なんか
また...きちゃう♡

あっ♡

あっ♡

あんっ♡

ぢゅわ♡

ぢゅわ♡

ズッ

ズッ

ズッ





ふう…ふう…
二木…うっ！

あんっ♡

もう…田中つてば
赤ちゃんじゃん♡

あっ…♡

いっぱい
ちゅーちゅー
していいよ♡

ちゅー
ちゅー
ちゅー

ドク…
ドク…

ほら、田中の好きな
おっぱいで
包んであげる♥

うおっ！

ん……っ♡

ぎゅっ♡

ぎゅっ♡

あっ…田中の
やっぱり大きいよ
谷間からはみ出てる♥



田中、どう？
私のおっぱい
気持ちいい？

うん…最高
幸せ…おお！

あっ

あっ

よかった♡おち○ちんも
どんどん熱くなつて
喜んでるみたい…♡

ぬ
30

ぬ

ぬ
30



わあっ♡

あんっ♡もう何回も
イってるのに…♡

二木! あああっ!

おっぱいから
噴水みたいに…
田中元氣すぎ♡

あっ♡

ビュッ

ビュッ



はあ……

ああ……すごい
あったかい♡

はあ……

おっぱいの中で
おち○ちんも
どんだん元気に
なってる……♡



今度は田中の
好きなように
動いて...

んっ...♡

あっ...♡

二人でいっぱい
気持ちよく
なりたいから...♡

分かった
二木がそう
言うなら...

んっ...♡

んっ...♡







くっ...うっう！
ニ木っ！ああっ！

んあっ♡
んっ...ふっ♡

んあっ♡

んっ♡

あっ...おぐ♡
熱いの...っぽ♡
♡ぽ♡

ドッ...

ドッ...

ドッ...

ドッ...

ドッ...

ドッ...



はあ...はあ...
私の中...
田中でいっぱい♥

あ...っ♥
おち○ちん
もっと出したそう

はあ...っ♥

はあ...っ♥

田中...こっち来て♥

ゴ...っ

キョッキョッ



うん…嬉しくって
ずっと…ずっと
夢見てたから…

田中とこうして
繋がれて嬉しい♡

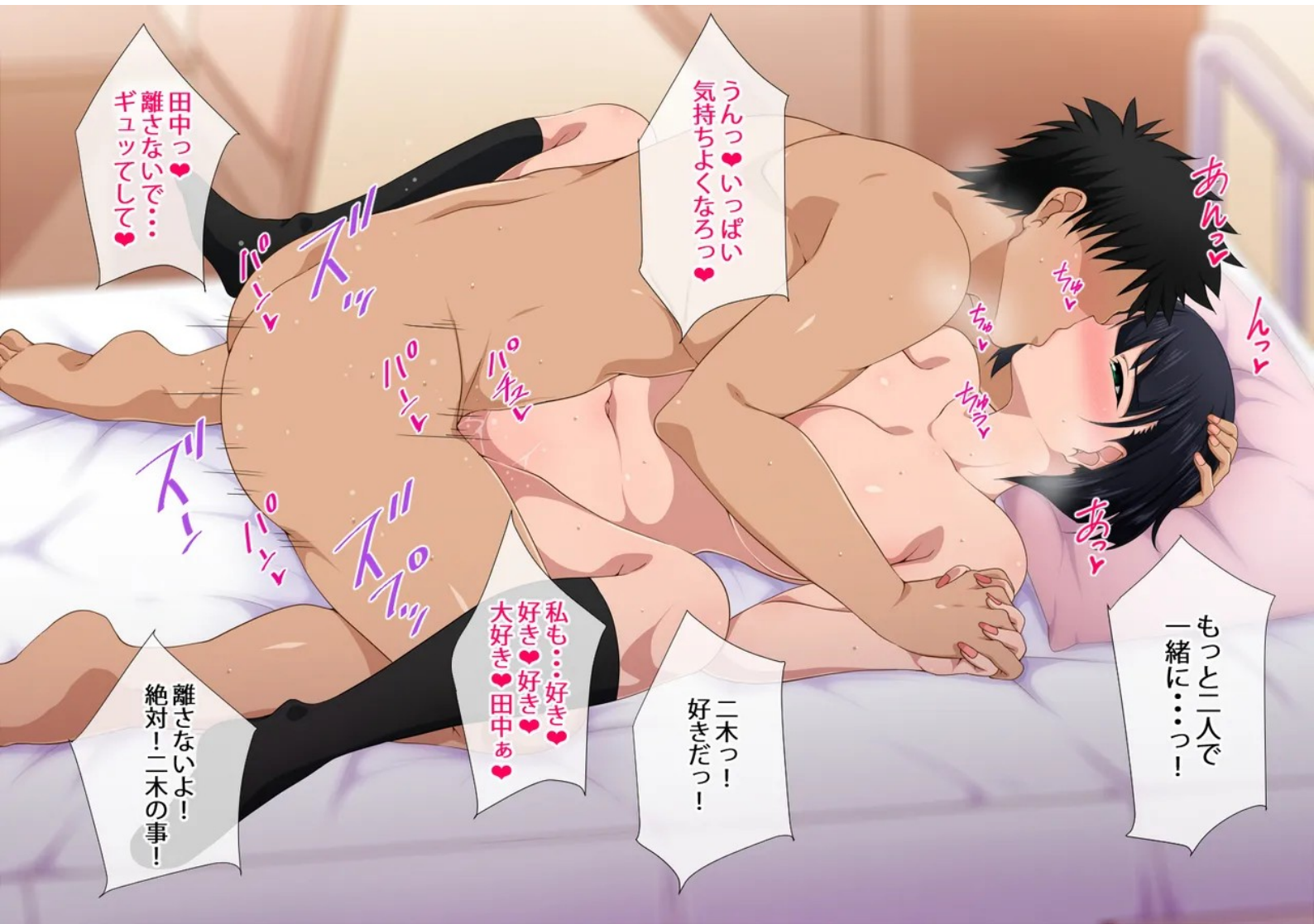
俺も…二木と
同じだよ…だから

どうかした？

あんっ…
えへへ…♡

あん♡

あ♡



もっと二人で
一緒に…っ！

うんっ♡いっぱい
気持ちよくなるっ♡

私も…好き♡
好き♡好き♡
大好き♡田中あ♡

二木っ！
好きだっ！

田中っ♡
離さないで…
ギュッとして♡

離さないよ！
絶対！二木の事！



田中あ♡

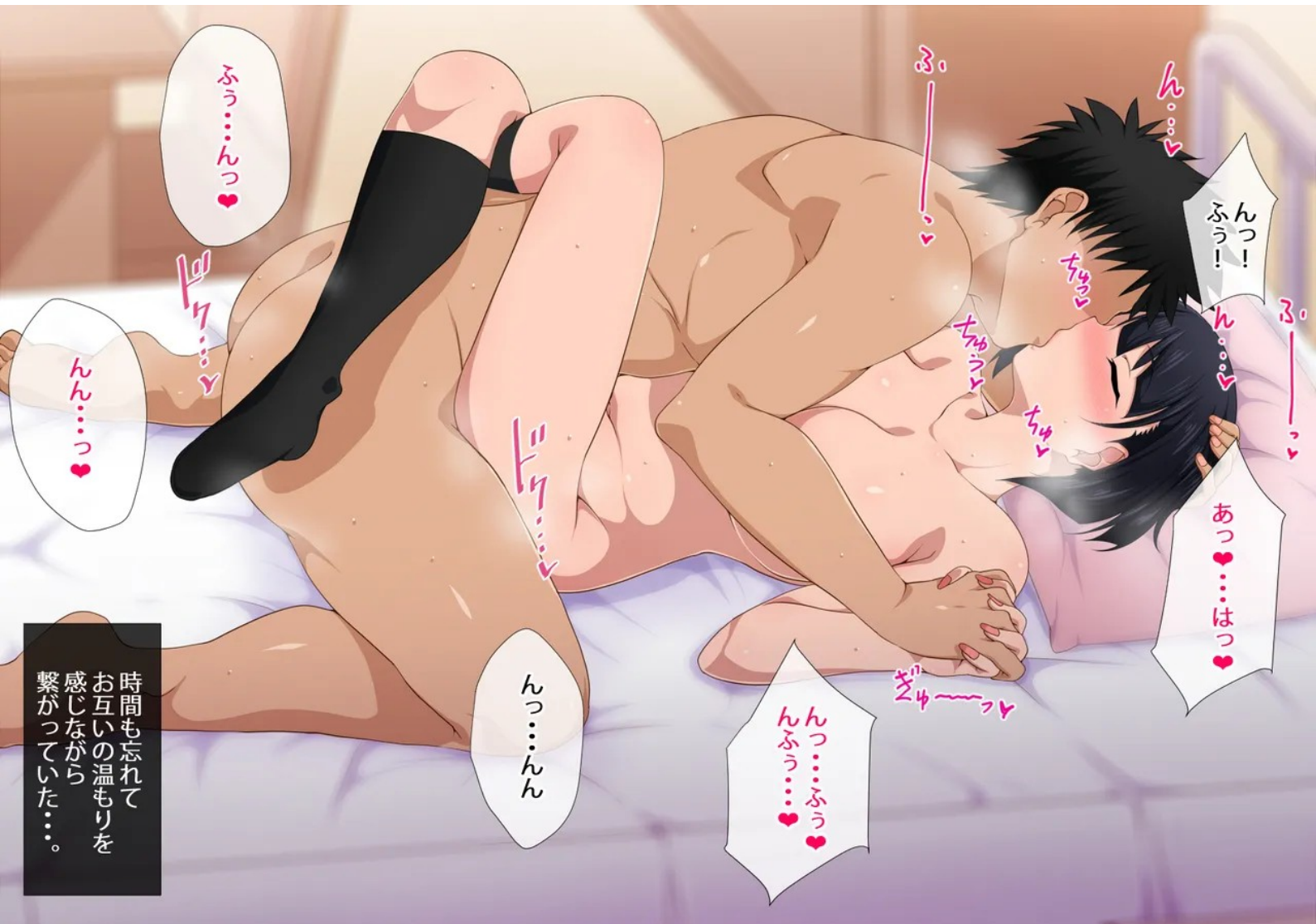
あっ♡

んああっ♡

ああん♡

二木っ！あああっ！
うっ！...くう！

あっ♡はあんっ♡
あああっ♡



ふう...んっ♡

んっ...っ♡

んっ...ん

んっ...ふう♡
んふう...♡

んっ!
ふう!

あっ♡...はっ♡

時間も忘れて
お互いの温もりを
感じながら
繋がっていた...

翌日…

田中♡♡

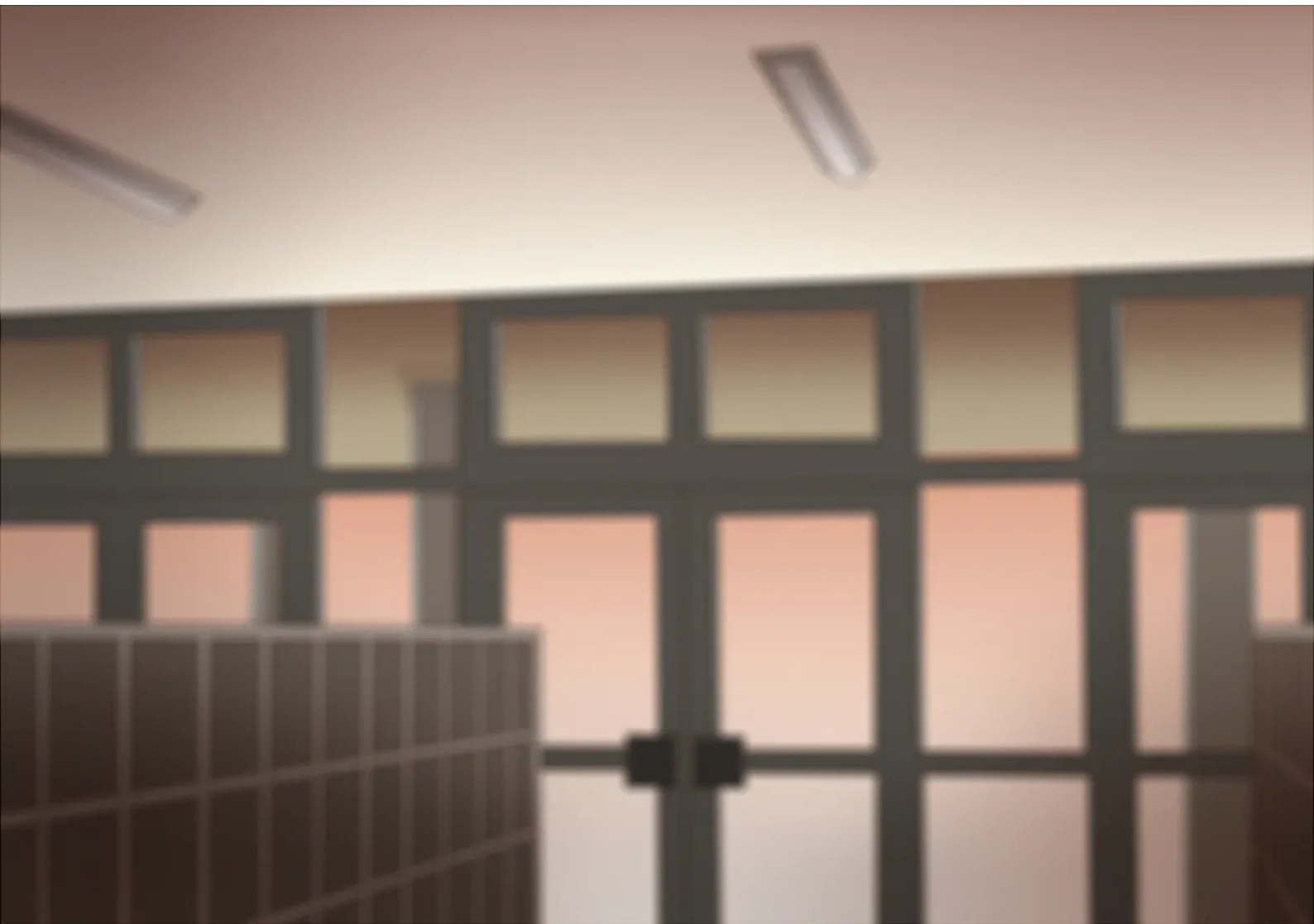
今日も寒いね…

そうだな…

今日も…
温まってって
いい…?

うん♡

END

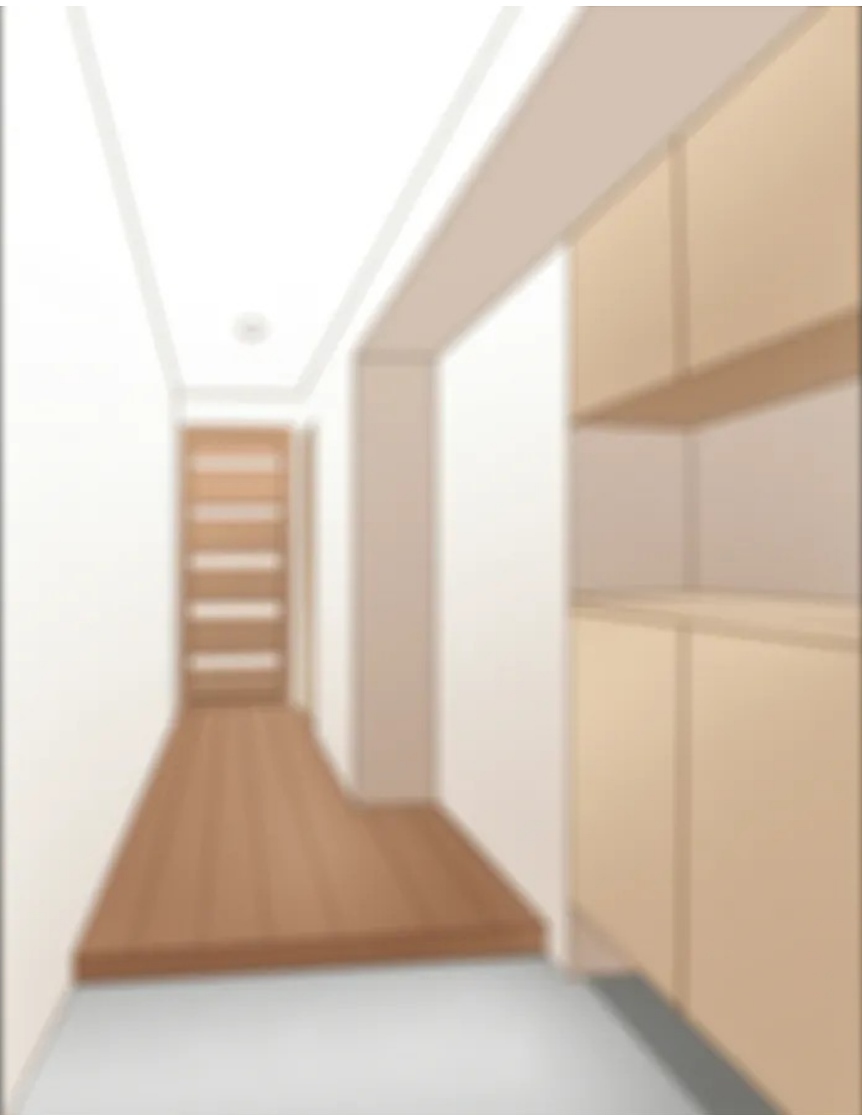






































































































































この度はサークル「きつね屋根」の作品を
ご購入いただきありがとうございます。

この作品はフィクションです。

作品の閲覧には画像ビューア
等のソフトをご使用ください。

この作品でお楽しみいただけたら幸いです。

今後とも当サークルの作品を
よろしくお願いします。

制作：サークル「きつね屋根」
2017年11月